



バイタルバイオ製造工程。培養した微生物液を原料に添加し発酵させる。

微生物発酵飼料の需要拡大と製造現場の課題

株式会社iDECOMは、微生物資材の製造・販売を通じて農業や畜産分野の課題解決に取り組んでいる。家畜の健康状態の改善や生産性向上を目的とした微生物発酵飼料「バイタルバイオ」は、畜産農家から高い評価を得ており、需要は年々拡大している。同社は製造体制の強化と生産量の拡大を進めてきたが、従来の生産体制では年間約70,000kgが生産の上限となっており、増加する注文に十分対応できない状況が生じていた。

こうした背景から同社では新工場の整備を進め、生産能力の向上を図る計画を進めている。しかし生産量の増加に伴い、工場内での原材料や製品の移動作業が増えることが想定され、作業員への身体的負担の増大が課題となっていた。特に発酵工程では、米ぬかやトウモロコシなどの原料を扱うタンクや、約20kgの製品袋を頻繁に移動させる必要があり、重量物の取り扱いが作業員にとって大きな負担となっていた。こうした重筋作業の軽減と安全な作業環境の確保が、新工場の運用における重要なテーマとなっていた。

運搬補助装置の導入による重筋作業の低減

そこで同社は、微生物発酵飼料の製造工程における作業負担を軽減するため、重量物の運搬を補助する専用設備を導入した。導入した装置は運搬物の重量を自動で検知し、必要な力を機械がアシストするもので、作業員がほぼ重さを感じることなく重量物の移動ができる。これにより、従来人力で行っていた原材料タンクや製品袋の移動作業を効率的に行うことが可能となった。

特に蒸気滅菌工程では、約20kgの原料を地面から約1mの高さまで持ち上げて装置へ投入し、処理後には約100℃の高温となった重量物を取り出す必要がある。今回の設備導入により、1日50回以上の投入・取り出し作業の安全かつ効率的な実施が可能となった。

本設備の導入により作業員の身体的負担が軽減され、女性や高齢者でも作業に従事できる環境が整った。これにより人材確保の選択肢が広がるとともに、安定した生産体制の構築につながることが期待される。同社は今後も微生物技術を活用した製品開発と製造体制の強化を進め、農業・畜産分野の持続的な発展への貢献を目指す。



121℃で加熱滅菌した培養タンクを移動させるムーンリフタ。



農家と牛への想いが詰まった、出荷前の「バイタルバイオ」。



50kgのタンクを昇降。小柄な女性でも手作業で対応可能だ。

responsible party

自由な発想で課題解決を目指す

設備の導入で力のある男性に限定されてしまいがちな作業がボーダーレスなものになりました。事業によるサポートに感謝しています。



微生物培養室 室長／樋口 育子

土を育て、命をつなぎ、食を未来へ。 | 真空と理化学(ハイブリッド)の知見で、北海道と本州の架け橋(ブリッジ)を目指す。

株式会社iDECOM

札幌市西区八軒6条東2丁目8-10オークビル305 TEL 011-769-0401 FAX 011-788-2009
設立:令和元年7月 従業員数:従業員2名、役員2名 代表者:近藤 賀慎

URL <https://i-decom.com/>

